

秘伝！ ナポリ奏法

演奏を上達させるためのエクササイズ

と き 2008年10月12日(日) am.10:00~
ところ 豊田市視聴覚ライブラリー 集会室
参加費 3,000円
講 師 ジュゼッペ・マッシモ・マッサーリア

(通訳 渡辺 じゅん氏)

Profile



ジュゼッペ・マッシモ・マッサーリア

イタリア・トリノ在住。9歳よりピアノを学び、同年秋には国内コンクールで1位に入賞し11歳より本格的に演奏活動を開始。あわせて13の国際・国内コンクールで優勝し、トリノ・ヴェルディ音楽院により"Carlo V. Stura"賞を授かる。ジェノヴァ・バガニーニ音楽院を最優秀で卒業。これまでに350以上のコンサートをイタリア国内外で行い、室内楽をはじめ、ソリストとしてトリノ RAI シンフォニーオーケストラ、マンチェスター管弦楽団、ポローニャ市立管弦楽団、アレッサンドラ・ヴィヴァルディ管弦楽団他との共演を行う。演奏活動をする傍らイタリアの主要なコンセルヴァトリーオ教授、数多くの国際・国内のコンクール審査委員長、音楽監督を務め、また各地に於いてマスタークラスを開催。2004年から豊田ミュージックアカデミーでマスタークラス教授として招聘。

通訳/渡辺じゅん

横浜出身、イタリア在住ピアニスト。7歳よりピアノを学び、10代よりソロ・室内楽・伴奏と多くの演奏会に出演、95年ルーマニアシルベストリ国際音楽祭において国立オーケストラソリストとしてデビュー。96年6月イタリアへ渡伊、イモラ国際ピアノアカデミーにて更なる研鑽を積む。これまでに数多くの国際コンクールで入賞、99年よりイタリア・フランスを中心に本格的演奏活動を開始。04年、イタリア現代作品を世界初演(CD2枚リリース)。06年イタリア生活10周年記念として、イタリア・日本でリサイタル。2004年から豊田ミュージックアカデミーでマスタークラス教授として招聘。

ピアノ レッスン

開 講 日 2008年10月12日、13日、14日
レッスン料 25,000円 1回90分
(他に宿泊・交通費5千円、通訳費5千円が必要で合計35,000円になります)
会 場 豊田ミュージックアカデミー

< 振込先 >

岡崎信用金庫 豊田美里支店
普通 0148020

レッスン受講される方は、山田茉莉子まで連絡ください。

お申込み・問い合わせ

豊田ミュージックアカデミー・マスタークラス係(代表/塚本一成)
電話 0565-80-7206 FAX 0565-80-7246 メール academy@t-tma.com
申込書とレッスン料35,000円の入金を確認後、受付完了となります。

ピアニスト ジュゼッペ・マッシモ・マッサーリア特別セミナー

ピアノを弾く為の基礎的な体の使い方

ピアノという楽器は、全ての楽器の中でも複雑で大きな楽器です。その楽器を奏者と一体化して演奏するのは大変体力を必要とします。そして、その表現を最大限に引き出すためには私達ピアニストの体の準備はとても大切です。なかなか思うような音を出すことが出来ない=表現できない、という問題に突き当たるとき、それらを少しでも解決・助ける為には、私たち自身の体をこのピアノという楽器のために作り上げる必要が多少なりとも出てきます。ここでは、基本的な姿勢から実際の曲を通しての実例、そして普段からできる筋力トレーニングを一緒に学び、ピアノという楽器を自分の体の一部として使えるように試みましょう。

1) 私達とピアノ - 「一体化」 ピアノに向かう姿勢~頭からつま先まで

- ・ 体とピアノのコンタクト
- ・ 基本の姿勢 ピアノの前でどのように座る？
- ・ ピアノへのアプローチ / ポジション
- ・ ピアノと体の融合(一体化)

2) 体をどのように使うか？その実例とブラクティカル(実際) チェンバロ作品から、時代と作曲家・作品を追って対応しよう

実例 取り上げる予定作曲家

- スカルラッティ (クラヴィチェンバリスト作品)
- メンデルスゾーン (ロマン派作品)
- リスト (ロマン派全盛作品)
- ブラームス (ロマン派後期作品)

症例作品は変更する場合があります。

参加者はそれぞれ1曲自由選択した曲を楽譜持参で持ってきてください。その中から症例作品・作曲家・時代以外の曲を選んだ人の中から3曲、その場で直接質問できるようにします。

3) 体の筋肉を作り上げよう - ピアノを弾く為の体(主に筋肉)の作り方

- ・ ピアノを弾く為の筋力の発達の助け
- ・ 耐久力を養う筋肉トレーニング
- ・ 食事はどのようなものを、いつ？どう食べる？ - 練習時・コンサート前・コンクール前等

トレーニングチェックシートを配布します。

軽く動ける服装を準備してください。ハイヒールはトレーニングが出来ないので、運動靴またはフラットな安定する靴を選んでください。

参加者は、それぞれメモが出来るようにノートやメモ帳を持参してください。

また3)では実際に筋肉トレーニングを行うので、服装の着替え、または直接動きやすい服装で参加されるのが望ましいです。